

14.06.14~15 谷川岳馬蹄形縦走報告

C2 北村 駿

① 参加メンバー（敬称略）

M4 荒川 C2 北村 C1 上村 （計3名）

② コースタイム

1日目

本郷 03:30~06:10 土合口 06:30~10:40 谷川岳トマの耳 11:00~12:00 一ノ倉岳 12:15~13:05 茂倉岳 13:30~15:40 蓬ヒュッテ(幕営)

2日目

蓬ヒュッテ 04:30~05:35 七ツ小屋山 05:50~06:40 清水峠 06:55~09:10 朝日岳 09:50~11:00 笠ヶ岳 11:30~12:20 白毛門 12:45~15:10 土合口

- ③本文 1日目 夜明け前に本郷を出発し、関越道を通して土合口へ。小雨が降っていて、上下雨具を着てのスタートとなった。またロープウェイは休止中で、天候も微妙であることもあって登山客はさほど多くはなかった。

スタートしてすぐに本格的な登山道に。西黒尾根を登っていく。初めのうちは樹林帯で雨のためにぬかるんでいる部分も多かった。やがて樹林帯を抜け、岩場を中心



に歩く。視界は開けていたがガスで周囲の山々を見渡すことはできなかった。勾配が比較的急な道が続き息のつかない道が続く。所々には鎖場もあり、若干ではあるが稜線上に雪渓もあって足をとられないよう注意深く歩いていった。

土合口から 4 時間ほどで谷川

岳山頂に到達。天候が回復せず見通しが悪かったのは残念ではあった。雨も時おり強く降ることもあったが、予定通り一ノ倉岳、茂倉岳、武能岳を経由して蓬ヒュッテを目指すこととした。谷川岳をあとにしてからはスムーズに進み想定通りの時間で蓬ヒュッテに到着。テントを幕営するころには天候が回復、青空が覗き日も差すようになった。あと少し回復が早ければ…とも感じた。

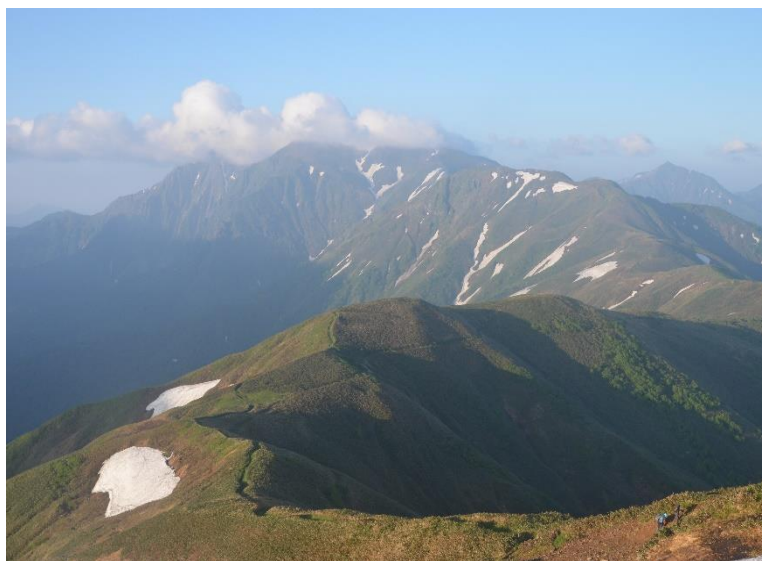
テント幕営後、夕食の準備。ビーフシチュー(風)を作ったが、量もあって美味しかった。テント泊ではこのように食事を準備するのも楽し



みの一つである。天候も回復し日が最も長い時期であるため日が落ちる前に食べ終え、就寝準備。こんな明るい状態でのテント泊は珍しいように思う。翌朝に備え 19 時頃には就寝。テント内は暖まったままで寒さを感じずに寝ることができた。



2日目 朝3時に起床。少しガスも出ていたが晴天であった。朝食のシリアルを済ませ、テント撤収後予定より少し遅めの4:30に蓬ヒュッテを後にした。開けた稜線を歩いていき、七ツ小屋山を通過したのち清水峠に着。前日とはうって変わって晴



れていたため、山道で多くの登山客とすれ違った。清水峠を出てこの日で最も急な勾配を登っていき、朝日岳山頂に辿り着く。この頃には朝に比べ気温もかなり上昇していて汗ばむ陽気となっていた。山頂で長目の休憩をとった後笠ヶ岳、白毛門を通過。アップダウンが結構あって楽な道のりではなかったが、ガスも抜け雄大な景色を楽しみながら足を進めていった。白毛門からは土合口を目指しひたすら高度を下げていく。1000mを一気に下るという



ことで最後の関門といったところか。前日の雨もあって足場も悪いところが随所があり、昨日からの行程で足に疲労がたまっているところに断続的に下りが続いたためかなり足にこたえたが、荒川さんと上村くんの足を引っ張らないようになんとか下りきることができた。

下山後温泉に立ち寄ったのちに帰路に就く。温泉で二日間の疲れを吹き飛ばすことができた。帰りの道も少々混雑していたものの無事帰ることができた。

今回の山行は個人的にはかなりきつい行程であったが、なんとか持ちこたえることができた。特に二日目は谷川岳馬蹄形の山々の眺望を楽しめ、とても貴重な山行となったと思う。